

未来の電話 (t-Room)

NTTコミュニケーション科学基礎研究所

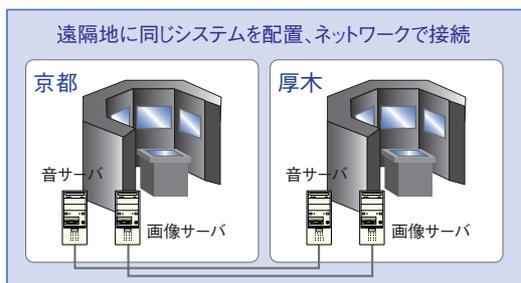
せっかくテレビ会議システムがあっても、やはり直接面談して話をしなければならないと思う状況は、相変わらず多いのではないのでしょうか。従来のテレビ会議システムでは、品質の高い映像音響や仮想現実技術を用いて、高臨場感を作り出そうとしていました。しかし従来のシステムでは、同じ部屋にいる人との間なら当然成立するような以下の状況を伝えることができませんでした。

Aさんの斜め向かいにBさんが居れば、BさんからもAさんは斜め向かいに見えます。Aさんから見たBさんとの距離と、Bさんから見たAさんとの距離は当然同じです。Aさんが移動すれば、Bさんの見える向きや距離が変わりますが、Bさんからも変わります。その動きを端でみているCさんには、2人の位置関係がすぐに伝わります。同じ部屋にいる場合には、当然伝わるのですが、従来のテレビ会議システムでは伝えられませんでした。NTT研究所では、あたかも同じ部屋に居るかのような感覚のことを「同室感」と名付け、遠隔地にいる人々に、そしてさらに時差のある場所にいる人々に、同室感をもたらすようなテレビ会議システム「t-Room」を開発しました。

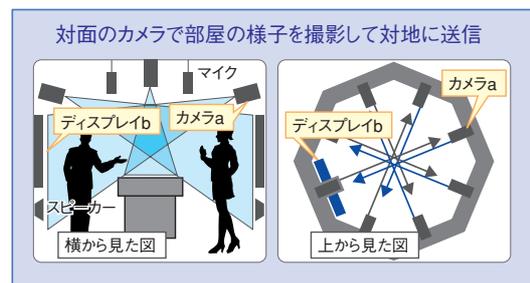
2005年6月に開催されたNTTコミュニケーション科学基礎研究所オープンハウス2005では、来場された多数のお客さまに実際に同室感を体験していただき、大変な好評を得ました。同年12月には、t-RoomのオフィシャルWebサイト「未来の電話」(<http://www.mirainodenwa.com/>)を開設しました。このサイトには、t-Roomの技術解説やダウンロード可能なデモビデオ(11分)など、t-Roomに関するさまざまな情報が掲載されています。時差のある場所にいる人に同室感を与えるためには、t-Room内での前の会議を記録しておいて、その様子を再生しながら現在の会議を進めていきます。さらにその現在の会議の様子が、未来の会議で再生されます。この会議の再生は、あたかも電子メールにおけるテキストの引用のような役割を果たします。ぜひサイト内のデモビデオをご覧ください。

NTT研究所は、t-Roomを未来の電話だと考えています。t-Roomを通じてさまざまな通信サービスを提供し、t-Roomを通じて携帯電話にもPCにもつながり、t-Roomを通じて人と人とがコミュニケーションする。t-Roomの無限の可能性に期待してください。

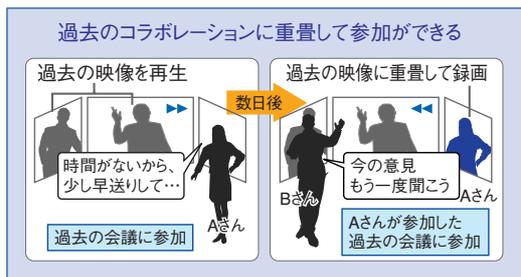
t-Roomの仕組みとデモ展示模様



t-Roomのハードウェア構成



ディスプレイとカメラ、スピーカーとマイクの配置



時差のある会議への参加



デモ展示模様